

第2次 地区計画策定に向けた現状把握

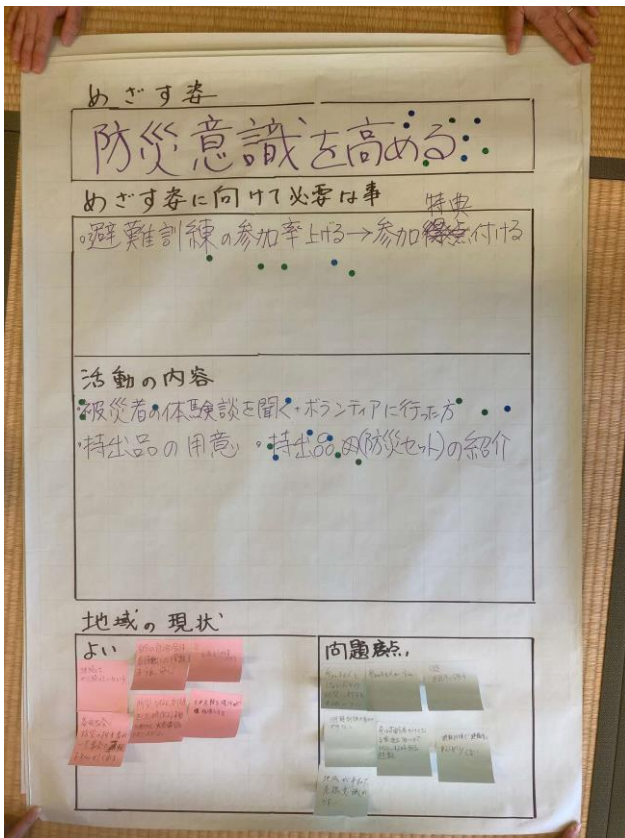
■対象：策定委員 ■人数：16人 ■時間：120分 ■手法：ラベルワーク、フリップトーク

学習のねらい

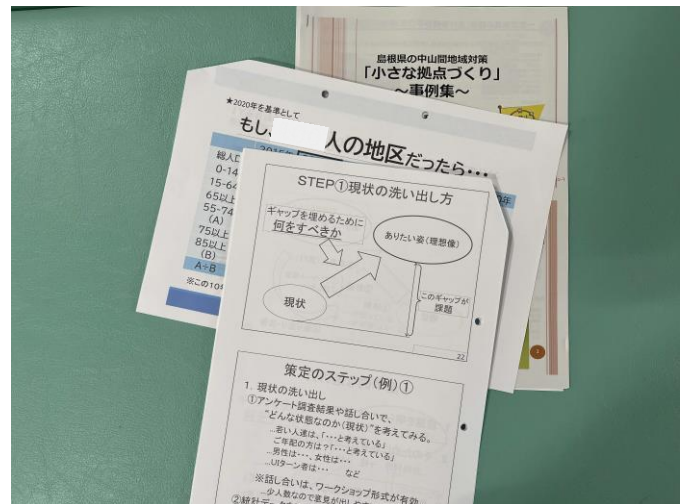
地区計画策定委員や地域の若者達が、各地域の現状について報告したり、意見交換したりしていく中で、地域の課題について共有することができる。

時間	学習の流れ	工夫されたことや気をつけられたこと	準備物
	【はじめに】		
地区計画を策定してから5年が経ちました。第2次地区計画を策定するにあたり、各地域の現状について今一度見つめ直ししていく中で、今後の課題を共有していけるとよいのではないかと考えています。今日は「地域防災」と「かみくの桃源郷の活用について」をテーマに話し合います。			
10分	【アイスブレイク】 自己紹介など		
90分	<p style="text-align: center;">《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>【個人作業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 防災に関わる地区の現状について「よい点」「問題点」を付箋に書き出す。 <p>【グループ活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 書いた付箋を紹介しながら、模造紙に貼っていく。 ■ 「めざす姿」について、話し合い模造紙に記入する。 ■ 「めざす姿」に向けて必要なことを記入する。 <p>【全体交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各グループが作成した模造紙を見て回り、よいと思った意見やアイデアにシールを貼る。 <p>【個人作業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「かみくの桃源郷」活性化に向けての目標と提案をカードに記す。 <p>【グループ活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 記入したカードを見せ合い意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 想起してもらいやすいように前年度の反省や写真などを準備する。 ■ 模造紙に貼り付けたり、記入したりしやすいように事前に記入欄をレイアウトしたものを活用してもらう。 ■ シールを貼ることで、意見や考えのよさを見える化しながら共有することができる。 ■ シールは1アイデアに1枚で、何枚も貼ることができることとする。 ■ 目標には、「かみくの桃源郷」がこうなったらいいなという姿を記入してもらう。 ■ 目標を達成するために思いつく提案を記入してもらう。 ■ カードを用いるが手法はフリップトークのような形で進めるように伝える。 ■ 意見交換の時間を十分に取る。 ■ アイデアを1つに絞るようなことはしない。一人一人の気付きや良さを分かち合うように伝える。 	パソコン プロジェクター スクリーン 模造紙 付箋 マーカー シール A5サイズのカード

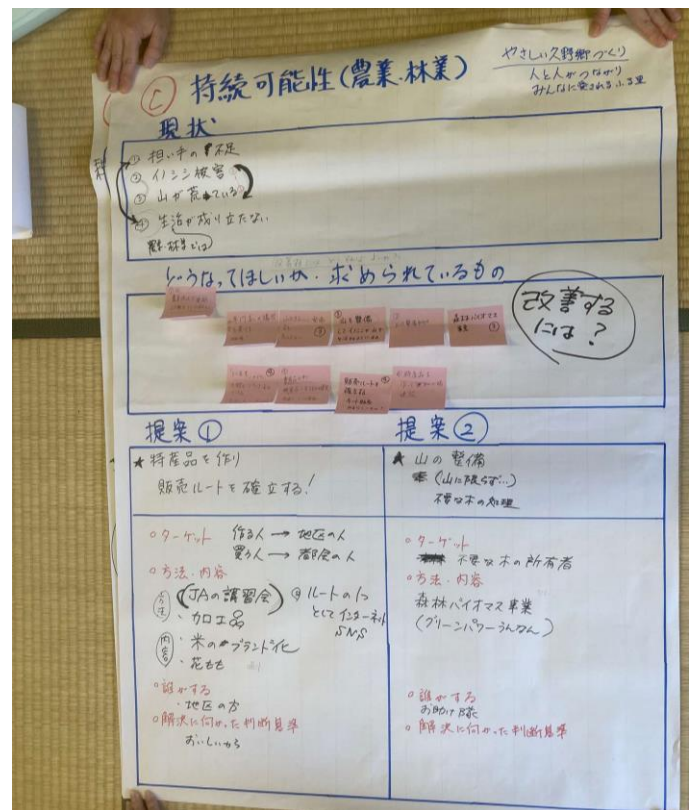
20分	【ふり返りと分かち合い】 ■ 今日話し合ったことについて感想を述べてもらう。		
	【おわりに】 短い時間でしたが、2つのテーマのことで熱心に話をさせていただきありがとうございます。本日いただいた意見を、事務局で検討させていただきたいと思っております。次回は、「林業や農業のこれから」「高齢者に関する課題」について皆さまからご意見がいただければと思っております。次回もどうぞよろしくおねがいいたします。		



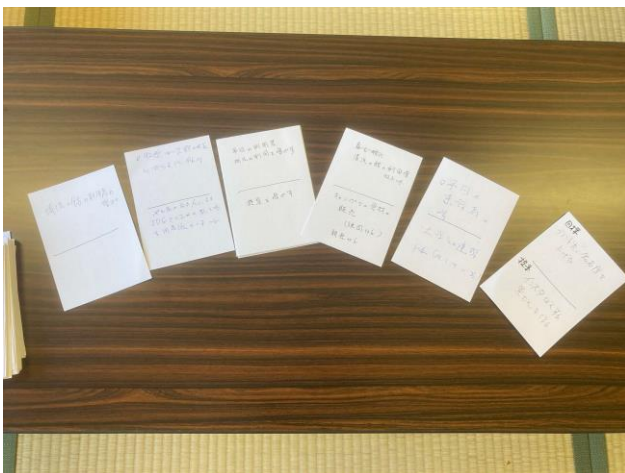
【地域防災について考える】



【講義資料】



【農業・林業について考える】



【「かみくの桃源郷」活性化に向けて】